

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 津山市水道局		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 708-8501 津山市山北520	
本票作成	部署名：水道施設課				
主たる業種	分類コード	36	業種名：水道業		
事業の概要	職員数34名、車両保有台数23台。現在、2浄水場（小田中、草加部）において日配水量、小田中浄水場系26,000m ³ 、草加部浄水場系26,000m ³ を供給している。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	草加部浄水場		津山市草加部1200	
	②	小田中浄水場		津山市小田中2123-5	
	③	一宮ポンプ室		津山市一宮1303-15	
	④	榎ポンプ室		津山市一宮1106-4	
	⑤	横山ポンプ室		津山市横山338-10	
	⑥	高倉第2ポンプ室		津山市下高倉894-9	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 105 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	7,669 t CO ₂	7,802 t CO ₂	7,285 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29)年度排出量
	①	草加部浄水場	3,209 t CO ₂
	②	小田中浄水場	3,341 t CO ₂
	③	一宮ポンプ室	183 t CO ₂
	④	榎ポンプ室	83 t CO ₂
	⑤	横山ポンプ室	79 t CO ₂
	⑥	高倉第2ポンプ室	51 t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(29)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.7 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(29)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

基準年度である平成26年度の排出量と比較して平成29年度の実績は、1.7%増加した。平成29年度4月から簡易水道の地域であった加茂・阿波地域の施設が新たに集計対象となったためである。今後は計画的な温室効果ガス排出量の削減目標を達成できるように、省エネルギー推進委員会で検討する。

【推進体制】

平成29年度の電力量のエネルギー使用量実績をもとに、削減目標に向けて今後の取組についての検討を行うための省エネルギー推進委員会を設置した。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水道局全体	(平成29年度実施分) ●有効な水利用のため、漏水調査と漏水防止を行った。 ●ポンプ室の投光器の運用方法及び温度設定の見直しや、LED化等の取組を行い、省エネルギーに努めた。 (今後実施予定分) ●上記の実施分を継続して行う。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	太陽光発電等新エネルギーの導入についても検討し、これらにより省エネルギー化を推進していく。
その他	無	

【その他特記事項】

津山市水道局更新計画に準じ、浄水運用及び排水運用の適正化も図り、その中で省エネあるいは温室効果ガスの削減に繋げるためにも省エネルギー推進委員会等の検討の場を設け積極的に推進していく。